

【運営方針】

「少しでも 長く元気で 自分らしい生活を」

退去者も少なく、また迅速な入居により稼働率の目標達成できた。また体調不良時などに迅速な受診を行う事で入院者の減少につながった。

人材不足の中、医療面・介護面の連携をしながら乗り切った 1 年であった。

【年間目標】

- (1) 自立支援
- (2) 介護・医療・家族との連携
- (3) サービスの質の向上
- (4) 職員育成・環境整備
- (5) 安定した稼働

【実践内容】

- (1) 自立支援

①食 事

	男	女
自 立	6	17
見守り・介助	1	16

様々な食事形態を選べるシステムになり、嚥下困難な方も口から食べ物が入ることで現状維持へとつながった。

- ・ 座席は一部固定化されているが、嚥下状態や入居者間の相性などに応じて変更を行った。
- ・ 健康管理面より、食事チェック、あるいは必要な方には水分チェックを行った。
- ・ 健康状態、嚥下状態に合わせ、看護師・管理栄養士と連携を取り、食事形態、水分にトロミを付けるなどの配慮をした。
- ・ 昼食前の嚥下体操、また必要な方には毎食事に個別で嚥下体操も実施した。
- ・ 体調不良時には居室配膳を行い、安全に、そして体調回復に努めるように配慮した。
- ・ テーブル上は常に清潔に保ち、気持ちよく食事が取れるように気配りした。
- ・ 毎月 1 日と 15 日に松花堂弁当にて食事提供、また入居者のリクエストメニュー等も取り入れた。
- ・ 食事レクの実施一季節の食材を取り入れ実施。
- ・ 食事意見表を作成し、入居者の意見を毎日集め、献立内容の改善に努めた。
- ・ 毎月の寮母会議にて食事の検討し、食事内容などの改善に努めた。

## ②排 泄

### 排泄状況

	男	女
自 立	5	12
介助	1	15
おむつ	1	6

出来るだけ残存能力をいかせる介助を心がけた。昨年に比べ大きく変わりはないが女性でおむつ対応の方が増加した。

## ③入 浴

### ・ 入浴回数

	男	女
毎 日	1	6
3回／週	5	7
2回／週	1	20

### ・ 入浴時間

	男	女
昼間（13:00～17:00）	7	33
夜間（19:00～21:00）	0	0

### ・ 介助状況

	男	女
自立・見守りのみ	2	2
介 助	5	31

### ・ 入浴状況

	男	女
一 般	6	20
チェアイン	1	13
シャワー	0	0

以前に比べ介助が必要な方やチェアインでの入浴の方が増加。入浴環境を整え、気持ちよく、安全に入浴できるように配慮した。

・夜間浴の希望者はなし。時折、外出等で帰園が遅くなった際に使用するのみ。

#### ④環境面

- ・ 居室清掃

	男	女
自立	0	0
1回/週	0	0
2回/週	7	30
3回/週	0	3

\*原則は3回/週

- ・ 週2回をベースに居室掃除に行っている。できる事は自分でして頂く様声掛けした。
- ・ 毎日気持ち良く、清潔に過ごして頂くために入居者の要望に応じ、居室清掃を行い、リネン交換は週1回行うように配慮した。
- ・ 玄関前、2階食堂バルコニー、食堂、3階バルコニー、4階屋上等を緑と花で飾り、ほっとする空間作りを提供した。

#### ⑤機能訓練・リハビリ

- ・ 鍼灸師によるマッサージ、鍼、電気治療器、水流マッサージ器を利用。
- ・ 生活の一部として、又、身体機能の維持へとつながった。
- ・ 個々の状態を見極め、個別リハ、集団リハを実施。特に嚥下体操は昼食前に全体で行い、嚥下状態に合わせて毎食時に個別で嚥下体操も実施した。
- ・ 希望者には外部のリハビリの先生によるリハビリを行った。

#### ⑥健康管理

ご本人からの訴え、様子などをしっかり把握し、情報共有に努めた。  
看護師、介護士連携のもと、主治医へ情報を報告、相談、家族への報告等、一連の動きを確立。又、対応をスピーディーに行い、入院者減少へつなげた。

#### ⑦ケアプラン

本人、家族の要望をもとに分析し、プラン実行へとつないだ。  
随時、見直し期限を守り実行した。

#### レクリエーション・クラブ活動報告

< 1、クラブ活動に関して… >

近隣のボランティアさんのご協力もあり、入居者の方々は生活のひとつとして定着した。

実施時間 = 14:00 ~ 15:00

場所 = 2F 食堂 (カラオケのみ 4F 多目的室)

## < 2、レクリエーションに関して… >

毎日、体、頭を使うレクリエーション、散歩等を実践したが、実施できない日が増えていた。茶話会に変更し、コミュニケーションの場を提供した。

### 俳句クラブ

日時 = 毎週水曜日 14:00 ~ 15:00

場所 = 2F 食堂

担当 = 入居者の方が先生になり指導を行う。

### ボランティア活動

華道 : 第4土曜日 13:30 ~ 14:30 磯野先生

書道 : 第4火曜日 13:30 ~ 15:00 山村先生

音楽療法 : 第4月曜日 14:00 ~ 15:00 室井先生

ボランティアの先生方の新しい提案は入居者の楽しみのひとつであった。

シャンソンの方も月に1回、カラオケ会を行って下さる。

日本舞踊の先生による踊りや幼稚園との交流会も行った。

手先を使用することで、ADLの維持へとつながった。

## < 3、その他 >

### ① 買い物便について

日時 : 毎週月・木曜日 14:00 ~ 15:15

場所 : サティール

全入居者の方対象に気分転換、ADLの維持等も含め行っている。

買い物に同行し、ご自身で買い物を行うことで自立支援にむけて実践していった。

しかし職員付き添いが必要な方に対しての買い物同行はあまり実施できてなかった。

### ② 送迎について

・送迎バス(毎日運行)

垂水駅 ⇄ ふるさと (1日8便)

途中下車の件も解消し、入居者の方も生活の中にもうまく利用された。

また、17時台の送迎便を利用して生活の一部となった。

・予約便

神戸市内の受診送迎に限定して実施している。

入居者やご家族の負担軽減となり、通院時、職員が付き添うメリットもある為、情報も確実に現場に落とせるのでよい傾向となった。

有料化となったが引き続き皆様のニーズは高く、多くの方が利用された。

・衣料販売

1回/3ヶ月、春夏秋冬の時期に定期的実施。衣料を中心に施設内買い物と服選び。買い物の楽しみを味わっていただいた。

・意見交換の場の提供

H28.3月に実施、介護保険制度や、次年度の事業計画の内容(言葉遣い)の説明を行う。また皆様の生のご意見を伺った。

食事に関しては、ほぼ満足しているという意見が多く寄せられた。

## 年間行事

1. 特養との合同行事

〈納涼祭〉

平成28年8月24日(日)33名、家族様(9家族)参加

2. 外出行事・外食会 (事前に参加者を募り、希望者のみ参加)

自由に外出を楽しんでいる入居者が多い中、身体が不自由、または一人での外出に不安な方も外の空気を吸って社会とのつながりを感じていただけるよう、提案して計画。また健康面等の理由で外出ができない方に対しては施設内行事を企画し実施した。

〈春の花見会〉

平成28年4月5日(火)、6日(水)

垂水健康公園へドライブ。15名参加。

平成28年4月7日(木)

花見ドライブと外食会

10名参加

〈外出会・外食会〉

平成28年5月27日(金)

新開地劇場にて大衆演劇を観に行き、食事も外で食べられる。

6名参加

〈外食会〉

平成 28 年 6 月 17 日(金)、24 日(金)

入居者様より喫茶店でおいしい珈琲が飲みたいと希望あり

13 名参加

〈外食会・買い物ツアー〉

「和食さと」にて外食し、その後は「マックバリュー」にて買い物を行う。

平成 27 年 7 月 21 日(木)、28 日(木)

11 名参加

〈ビアガーデン、敬老祝賀会〉

屋上にてビアガーデンを行う。また入居者様の百歳のお祝いも行う。

平成 26 年 9 月 27 日(金)

36 名参加。

〈買い物ツアー〉

「ラ・ムー」に外出の機会の少ない方を中心に行う。

平成 28 年 10 月 12 日(水)

5 名参加。

〈外食会・買い物ツアー〉

「豆の畑」で食事した後に、買い物を行う。

平成 28 年 10 月 27 日(木)

6 名参加

〈お茶会〉

入居者様からスイーツの食事会の要望がありカステラビュッフェを行う。

平成 28 年 11 月 8 日(火)

39 名参加

〈忘年会〉

平成 27 年 12 月 20 日(火)

お鍋・デザート。入居者、職員が一緒にお食事。シャンソンの演奏、ビンゴゲーム、職員の出し物等を実施。プレゼント抽選会を行う。

37 名参加。

〈デザート会〉

風邪の流行により施設内行事に変更し、お菓子ビュッフェを行う。

平成 28 年 1 月 25 日 (水)

40名参加。

〈お茶会・デザートタイム〉

チョコフォンデュ

平成28年2月13日(月) 11名参加

平成28年2月22日(水) 12名参加

平成28年3月17日(金) 9名参加

ひな祭りパーティー

職員の出し物の落語を行い、饅頭とお茶の食事会を行う。

平成28年3月3日(金) 37名参加

(2) 介護・医療・家族との連携

現場内で情報共有を行い、取り組んできた。介護士の知識・経験不足の面を看護師サイドがバックアップしながら連携を図る。家族様来園時に、最近のご様子などの報告をする事で連携を図った。

(3) サービスの質の向上

接遇面、特に言葉遣いなどの課題はあった。次年度の大きなテーマとして「言葉遣い」に力を入れて取り組んでいく必要あり。

(4) 職員育成・環境整備

職員不足の状況の中で、協力して取り組んでいた。退職者もいなかった。

リーダー業務が出来る職員が増えてきたが、まだフォローは必要な為、経験を踏みながら育成をしていく。

(5) 安定した稼働

目標値97%は達成できた。

要因としては定期的の受診や体調不良時には迅速に受診を行う事で入院者の減少に繋がり稼働率を維持できた。

以上